

学芸員の仕事

和歌山県立紀伊風土記の丘
主任学芸員 瀬谷 今日子

学芸員とは

学芸員とは：

博物館法で定められた専門職員で、資料の収集や保管、展示、調査研究などを担う。

博物館には、さまざまな分野があり、それに応じた専門分野の学芸員が配置される。

【紀伊風土記の丘の場合】：考古資料・民俗資料を扱う博物館

＝「考古学」・「民俗学」の学芸員を配置

和歌山県立紀伊風土記の丘



国特別史跡岩橋千塚古墳群の
保全と公開を目的に1971年開園

敷地内に約**500**基の古墳と
江戸時代の移築民家、万葉植物
園、資料館を整備した
フィールドミュージアム

県立の考古学・民俗学の
博物館施設

学芸員の仕事

資料の収集・整理



調査・研究



資料の保存

展示



古墳の整備

活用

イベント 教育普及



発掘 調査



①収集する・調査する

展示や調査する資料を集める。
(個人所蔵のものや他館のものを借りる場合もある。)



地域にある資料を
調べに出かける。



発掘調査を行い、情報を収集する。

②整理する・保存する



資料を整理する



資料のデータベースを作成する



修理する・保管する



③研究する



資料について調べる



報告書や研究紀要を作成する

④展示する



- 展示を企画する（どんな内容にするか・何を展示するか）
- 交渉する（他館の所蔵品などの借用・講座の講師の依頼）
- 運搬する（借用品を梱包し、安全に運ぶ）
- 展示する（資料を展示室に並べる）
- パネルを作成する（解説パネルを作成する）
- 図録を作成する



古墳を復元整備し、公開する

⑤伝える（教育普及・活用）



講座・展示解説



学校遠足・
校外学習の受け入れ



モノづくり体験



古墳ガイドツアー

さらに、これからは・・・



SNSによる発信



VRコンテンツの作成



市民と共同し、
文化財を活かし
た地域づくりも



オンライン事業

デジタルコンテンツの活用



まとめ



学芸員の仕事

- 調査の**入口**から、保存・整備・活用などいわゆる**出口**まで。
- 資料を正しく**価値付**けること、資料を正しく**保存**すること。
- 調査・研究成果を市民に**直接伝える場をつくる**こと。
- 資料や成果と人々や地域とを**つなぐ役割**を果たすこと。

学芸員の仕事

- 学芸員は、研究・保存という言葉の響きから連想される内向きのイメージと異なり、実際は**人と関わる機会が多い**仕事。
- 研究・展示・教育普及は、さまざま視点を持ち、常に**最新の手法を学び**、社会の需要や流行にも**耳を傾け**、**最適な方法を探りながら常に変化**が求められる、刺激的でやりがいのある仕事。

学芸員になるには

☆学芸員資格を取得する

その1：大学で博物館に関する単位を取得する

その2：短大の学位と同等の学士を有し、博物館に関する単位を含めて62単位以上を修得し、かつ3年以上学芸員補として働く。

その3：学芸員資格認定試験に合格し、1年間学芸員補として働く。

☆学芸員として働く

博物館に学芸員として採用される場合や、

地方公共団体に埋蔵文化財専門職員として就職し、異動により博物館勤務に当たる場合など、さまざま。